

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年7月27日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島県	代表者名	湯崎 英彦		
担当者部署	地域政策局	連絡先電話番号	082-513-2603		
担当者役職	主事	担当者氏名	中野 優子	連絡先E-mail	
住所	7308511 広島県広島市中区基町10-52				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	当課からの資料の修正依頼に対応いただくことができた。 また、講演の録画及びそのデータを市町へ共有することも快く了承いただき、研究会後に市町がより理解を深めることができるのではないかと考えるため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年7月27日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			10時00分	10時30分	0
				活動時間 (分)	30

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	県職員	4 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本年夏頃には、基幹システムの標準仕様書案が提示され、各自治体において本格的に7年度末までのシステムの標準化・共通化への対応が求められる。この対応に際して、各自治体は、人的資源の制約がある中で質の高い行政サービスを効率的・効果的に提供していくため、既存事務手続きの見直しを検討し、AI・RPAを積極的に活用していく必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・県内のAI・RPA導入団体の増加 ・県内市町においてシステム標準化への準備が進んでいる状態	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・8月8日の講演当日の流れの確認 ・講演資料の調整	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・当課からの資料の修正依頼に対応いただいた。 ・講演の録画及びそのデータを市町へ共有することを了承いただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 講演資料	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 広島県内の自治体に対して、AI・RPA導入及び活用拡大に向けた課題についてアンケートを実施した。「導入効果が不明」、「取り組むための人材がない又は不足している」等の課題が挙げられた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	県内各団体において、システム標準化を踏まえた、AI・RPA等のデジタル技術の導入・活用が活発に行われている状態。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



- (残りの20%はコンサルタントがヒアリング結果を元に作成)
2. 弊社の知見に加え、自治体向けの技術文書を参考にした仕様書構成
 - ・「情報システム調達のための技術参照モデル(TRM)自治体編(平成26年度版)」(IPA)
 - ・「非営利事業グループ2018」(IPA)
 - ・「地域情報プラットフォームを活用した業務改善とシステム調達の手引き第2版」(Applic)
 3. 初回ヒアリング後、一時間以内に仕様書初版を出力可能。
 - ・ 初版の作成を早めることで、全体的な作業の着手も早くなり、担当者も心理的負担も減る。

